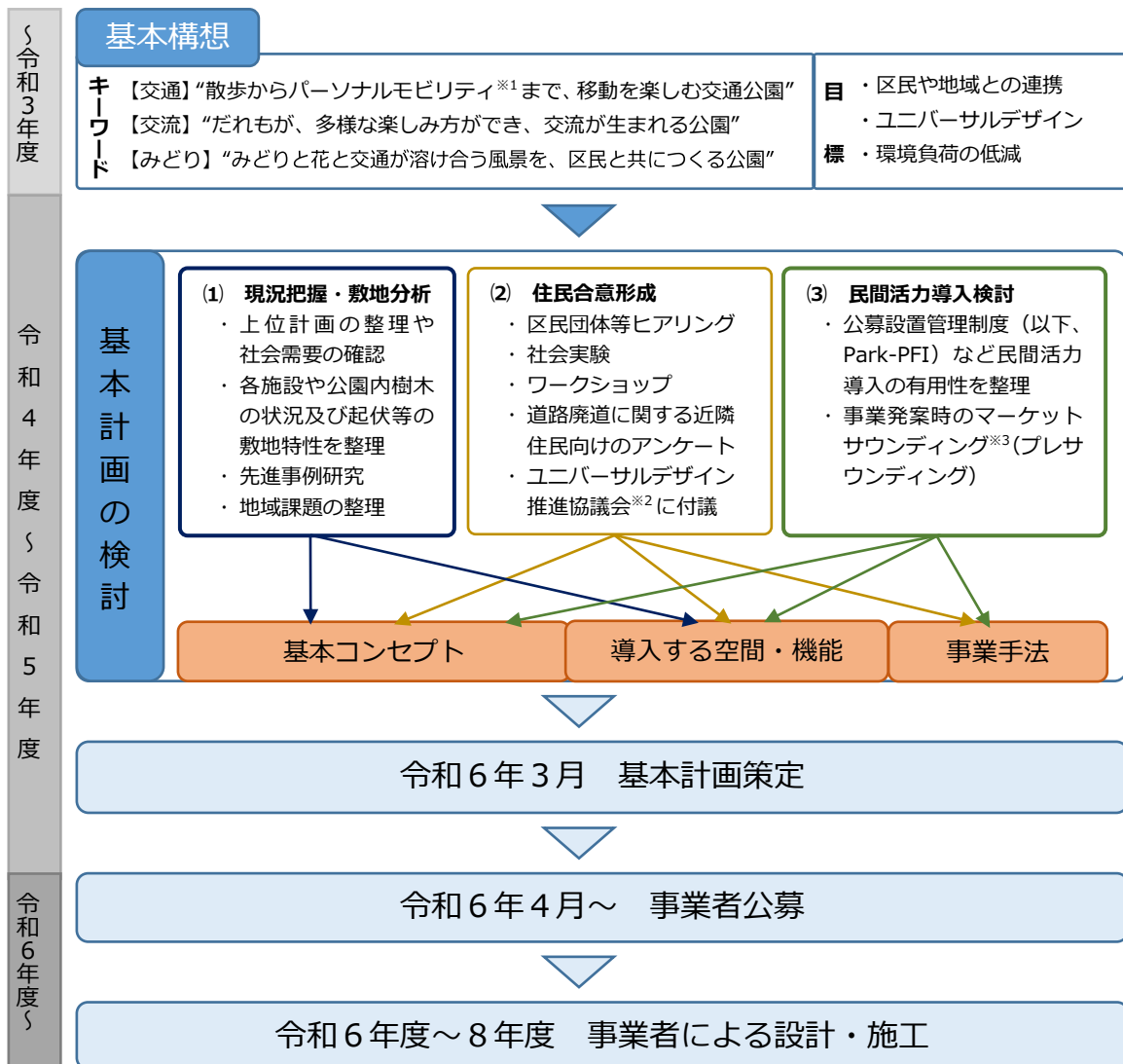


## 板橋公園再整備の進捗状況について

板橋公園では、隣接する拡張用地（旧大山小学校跡地）とともに一体的な活用を図った新しい交通公園の再整備を予定しており、令和4年1月に板橋公園基本構想（以下、「基本構想」という。）を策定した。その後、区民団体等へのヒアリングや社会実験などで住民合意形成を図りながら、令和8年度末の工事完了をめざし、下図のとおり準備・調整を進めているところである。

再整備に対する区民の期待や関心が高いことから、令和4年度より取り組んでいる板橋公園基本計画（以下、「基本計画」という。）策定に向けた検討状況を以下のとおり報告する。



※1 パーソナルモビリティ：徒歩や自転車に変わり気楽に行動範囲が広がることで、移動の利便性や回遊性の向上が期待される移動手段。電動キックボードやセグウェイ、シニアカー等

※2 ユニバーサルデザイン推進協議会：板橋区ユニバーサルデザイン推進条例に基づき設置された補助機関。区民、事業者、学識経験者及び関係行政職員で構成され、ユニバーサルデザイン推進のための事項を調査審議する

※3 事業者のマーケットサウンディング：都市公園における収益施設の市場性の有無を確認し、民間事業者による活用のアイデアを聴取することを目的とした対話による情報収集手法

## 1 基本計画の策定目的

基本構想を踏まえ、公園の利用状況や類似事例、敷地の立地条件などを調査分析し、導入する施設、サービス、事業手法を設定するなど、基本的な再整備内容を決定する。

## 2 基本計画の検討状況（令和5年10月時点）について

基本構想や各種調査等をもとに検討した基本計画の内容は下記のとおりである。今後更なる検討を重ね、令和6年3月に基本計画を策定する。

### (1) 基本コンセプト（案）

## 「モビリティコミュニケーションが結ぶ、ひと、まち、みどり。」

- ① 既存の起伏やみどりを生かした、拡張用地と一体的な公園整備
  - ・ 既存公園と拡張用地との間の道路を廃道し、一体的な整備を行うことで、道路横断による公園利用者の交通事故回避や、発災時の避難場所拡張による防災機能の強化
  - ・ 公園中央部の立体的な起伏や高木、芝生など、現在の公園利用で親しまれている敷地特性を継承した公園整備
  - ・ 地域の多様な活用アイデアに応えることを目的としたオープンスペースの確保
- ② モビリティによる新たなサービスの発信・発進拠点となる公園
  - ・ 人の移動や物流を目的としたモビリティだけでなく、フードサービス、移動図書館、各種アクティビティの提供など、多種多様なサービスを搭載した新たなモビリティの公園内での展開
- ③ 個人と社会の well-being の向上に資する公園
  - ・ 交通公園の機能を継承しつつも、単機能な公園から脱却した多機能性、多様な可能性のある公園
  - ・ 世代、人種、障がいの有無を問わず、多種多様な人々の利用・交流・自己実現を追求する公園
- ④ 公民連携による魅力づくりと地域課題の解決
  - ・ 民間事業者のノウハウ、デザイン・創意工夫を取り入れた整備、管理運営を行い、区のブランドとなる広域的な魅力づくりと地域要望の実現

## (2) 導入する空間・機能例示 (案)

### ① 導入する空間

#### (ア) 地域コミュニティ空間

- 公園を眺められるカフェ・レストラン
- コミュニティスペース、屋内遊び場
- イベント・音楽ステージ
- 地域の多種多様な活用アイデア・イベントに応えられるオープンスペース

#### (イ) モビリティコミュニケーション空間

- 各種モビリティトレーニングエリア
- 各種モビリティステーション
- 各ゾーンを結ぶ園内ネットワーク

#### (ウ) アウトドア・野外活動空間

- 既存の起伏・樹木を活用した、冒険性の高い遊具
- 自然体験ができる施設

#### (エ) 農・園芸空間

- コミュニティファーム<sup>※4</sup>
- フルーツ・フラワーガーデン
- 可動式プランター

#### (オ) 安心・安全のための空間

- 災害対応拠点としての活用
- 避難場所となるオープンスペースの活用
- 管理・運営スペース、バックヤード

※4 コミュニティファーム:仲間と共同で農作物を育て、交流することを目的とした農園

## ② 導入する機能

### 交通

- ・ パーソナルモビリティなどの実装実験
- ・ 公園利用を盛り立てる多種多様なサービスを搭載したモビリティの展開
- ・ 複数の交流拠点をつなぐ駅の設定 など

### 交流

- ・ 多種多様な活用が可能なコミュニティスペースの運営
- ・ 年齢・国籍・性別・障がいの有無に関わらず、公園利用をサポートする仕組み
- ・ 七五三などのライフイベント、郷土イベントの開催
- ・ キッチンカー・地域交流イベント・各種フェスなどの開催 など

### みどり

- ・ 開園当初から育まれた大径木など、資産としての緑の保全と継承
- ・ コミュニティファームなどを活用した「農のみどり」とのふれあい体験
- ・ 自然に触れあいながら1日過ごせる憩い空間の提供 など

### 学び・体験

- ・ 様々なキャリア体験、異年齢交流体験
- ・ 各種モビリティの体験
- ・ 地域とともに花壇やサクラなどの高木を育む取り組み など

## (3) 事業手法（案）

民間事業者のノウハウを活用した施設整備、公園活用を進めるため、Park-PFI<sup>※5</sup>などの様々な民間活力手法について、整備・維持管理運営両面において比較検討したうえで、導入する手法を決定する。

※5 Park-PFI：飲食店、売店等の公募対象公園施設の設置又は管理と、その周辺の園路、広場等の特定公園施設の整備、改修等を一体的に行う者を、公募により選定する制度

## 3 今後のスケジュール

令和5年12月	事業化検討時のマーケットサウンディング <sup>※6</sup>
令和6年1月	庁議報告：板橋公園基本計画（案）策定
令和6年2月	都市建設委員会：板橋公園基本計画（案）報告
令和6年3月	板橋公園基本計画策定
令和6年4月～	板橋公園再整備事業者公募実施
令和6年後半	選定、協定締結、施設譲渡契約、 提案内容のブラッシュアップ、基本設計
令和7年度	実施設計、都市計画決定、施工（1年目）
令和8年度	施工（2年目）、開園

※6 事業化検討時のマーケットサウンディング：公園管理者が事業公募に向けて整理した事業内容や公募条件について、民間事業者がより参入しやすい内容に修正する参考とするために、民間事業者の意見や参入意欲を確認することを目的とした、対話による情報収集手法